

システム紹介

電気機器のメンテナンス提案サポートツール

Maintenance Suggestion Support Tool for Electrical Equipments

1. はじめに

電気機器の生産中止や更新等に関する情報は廃番情報と呼ばれ、機器メーカーのホームページへ不定期に掲載される。ホームページの書式はメーカー毎に異なり、廃番情報をリアルタイムかつ機械的に得ることは困難である。一方、予防保全やメンテナンス等の目的で、複数メーカーの廃番情報を一括し収集するシステムに対する要望が強い。

今回、メーカー毎に多岐に渡る廃番機器情報を自動的に収集・集約し、納入済みの装置および設備毎の機器管理台帳と照合の上、廃番機器を抽出し、関係者や利用者へメール配信するシステムを開発した。本ツールを多くの電気機器により構成され、その役割から老朽化等による不具合発生が致命傷となる凍結保存設備に適用した。その結果、顧客に対し、予防保全やメンテナンスに関するタイムリーな提案が可能となったので紹介する。

2. 特徴

図1に本システムの概要を示す。特徴は以下の通り。

2.1 廃番情報の収集・集約

各メーカーのホームページはメーカー毎に書式が異なり、掲載される廃番情報も内容に差異がある。これら情報を自動収集し、本システム内で利用可能な形態へ変換・集約の上、常に最新の廃番情報を保持する。

2.2 廃番情報の判別

納入済みの凍結保存設備に付随した機器を予め台帳へ登録。台帳へ登録された機器と廃番情報を自動照合し、合致した機器は廃番機器と判別する。メーカーにより廃番機器の記載内容に違いがあるが、特殊な表記であっても照合は可能である。

2.3 予防保全やメンテナンス等の利用

廃番機器と判別した場合、機器種別毎の機能、故障リスクに関する説明、予防保全に関する機器交換の重要度、及びメンテナンスの推奨提案フォーマットを付与することにより、ユーザーが機器に関する知識を有しない場合でも、予防保全やメンテナンスに関する重要性が認識出来るようになった。

2.4 システムの自動化

廃番情報の収集・集約および廃番機器の判別に加え、廃番機器毎に故障リスク等の情報付与、配信まで一連の機能を自動化することにより、ユーザーによる廃番情報調査は不要となる。

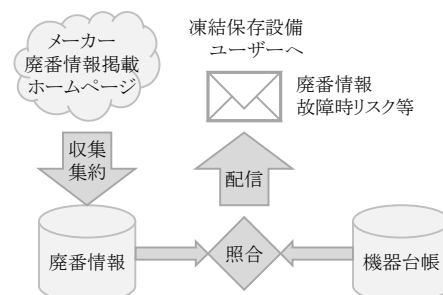


図1 システム概要図

3. まとめ

本システムの実現により、これまで担当者が手動で実施して来た廃番機器の調査や情報配信が不要となり、予防保全やメンテナンスに関する提案が可能となった。また、計画段階から納入までは一般的に期間を要するが、計画段階における装置及び凍結保存設備も台帳へ登録する事により、納入までに廃番機器が判別できるため、機器の誤納入防止にも役立てる事が出来る。

(開発本部 デジタルソリューションセンター
デジタル技術部 計装設備課 高畑 良次)

<問い合わせ先>
メディカル事業本部 バイオ・メディカル事業部
営業部 バイオ機器営業課
TEL. 03-5788-8675